

～～第8430回～～

御在所岳

～H30. 5. 12～

鈴鹿を代表する山、御在所岳には静岡西の行事としては何年振りかの山行です。今回登りは中道登山道、復路は国見峠から裏道へ下る行程です。安倍川駅を5:00に出発し新東名藤枝岡部ICから入り四日市ICで降り、御在所山の家駐車場に着く。ここが登山口になっておりストレッチ後出発。いきなり急登であったが、20分程登ると樹林を抜け稜線に出る。衣服調整をし、ロープウェイを真上に見上げる所を通り、御在所岳東面の山頂を見てほしいに高度を上げて行く。大きな花崗岩が点在する尾根を登る。前方に見える山を目指し、三点確保で慎重に進む。四合目(792m)で二枚の巨大なマナ板のような花崗岩「負ばれ石」が目の前に立つ。この名は赤子が愛らしく背負われたように立つところから付けられたそうです。五合目(842m)、六合目(900m)地蔵岩の脇を通過する。後ろを振り向くと、改めて自然界の造形の不思議を知らせられるようだ。展望が開けキレットの岩場に出る。鎖を使い一人ずつゆっくりと慎重に下る。鞍部から再び急な登りとなり高度をかせいで行く。7合目(990m)のカモシカ広場、8合目(1111m)岩峰、所々にシロヤシオ、イワカガミ、タテヤマリンドウの花が咲いていて、緊張の中なんかホットとする気持ちだ。山上公園の一角である展望台に着き、伊勢平野の景観を楽しみ、朝陽台でロープウェイに乗車した仲間の二人と合流し、一等三角点のある夕陽台と名付けられた山頂に向かった。観光客も多いのに驚き、広々した山頂(1212m)で昼食。食後、御在所岳最高点まで行ってきました。復路はスキー場を通り裏道分岐より下山。道は登りに比べ緩やかであるが、岩があり気が抜けずに慎重に歩く。ロッククライミングを見上げながら沢を渡り、沢伝いに進むと藤内小屋に着く。北谷橋の下を抜ける道は急斜面でした。まもなくロープウェイの駐車場に着。クールダウンを行い本日の山行終了。累積標高差860m、登りはスリルある岩場と展望の醍醐味、下りは岩場の景観を楽しみ、花あり、渡渉あり、変化に富んだ楽しい山行を満喫しました。

参加者：20名（静岡西16、焼津4）

天候：晴れ

地図：御在所山

コースタイム：安倍川駅500＝中道登山口745…キレット925…山頂1110-50…分岐1220…藤内小屋1350…駐車場1445＝安倍川駅1815

記録：静岡西支部 M・N

中道登山道・地藏岩



中道登山道・八合目付近

